

## 田村のつぶやき 第11号

2023.10.16 発行

文責：島根県立江津高等学校長 田村康雄

## 企業が求める探究力

先日、島根電工株式会社本社管理本部教育課の課長 山本 翔 様を講師としてお招きし、校内教員研修を実施しました。講師の山本様は、大学・大学院で心理学を専攻され、臨床心理士や公認心理師の資格もお持ちです。島根電工では、人事採用業務を中心に、社員教育や広報業務に従事され、社外の採用面接官や今回のような研修講師も務めておられます。

今回の研修会では、本校で取り組んでいる探究活動で身につける「探究力」が社会の中でどのように求められ、活かされているのかについて、企業における人材育成という視点からお話ししていただきました。講演のあと、先生方もグループに分かれ、話し合いをし、その結果をプレゼンしました。先生方も生徒の立場になって、探究活動を行いました。

研修会でお話をされた中で、印象に残った言葉をいくつか紹介します。

- 学んだことを行動、実践してこそ価値がある。
- 自分が成長したと感じるのは、失敗をした時。
- 探究学習は高校時代で完結するものではない。
- 探究学習は失敗しても良い。むしろ失敗をする場である。そこに成長を感じる。
- 企業が求める人財（単なる人材ではない）とは
  - ・失敗を成長（次のアクション）につなげられる人
  - ・成長する喜びを知っている人
  - ・自分で自分をコントロールできる人
- 楽な仕事はない、楽しい仕事ばかりでもない、大切なことは仕事を楽しむこと。
- 採用面接では、いかにも練習してきましたという答えは求めていない。それよりは、自分が頑張ってきたこと、夢中になったことを、一生懸命語るることができる熱量を感じられるかどうかを見極めている。

江津高校のグランドデザインも「自らの成長のために挑戦できる生徒」を育てたい生徒像として掲げています。いろいろなことに挑戦すれば失敗はつきものです。失敗を恐れず、失敗を許容し、失敗から学ぶことが、自らの成長につながります。人生はトライ・アンド・エラーの繰り返しです。もちろん失敗するよりは成功するほうがいいに決まっています。成功体験が自信につながることは間違いありません。しかし、何もかもが上手くいくとは限りません。私もこれまで数々の失敗をしてきました。そのたびに落ち込みました。その時、周りの先輩がフォローしてくれ、仲間が声をかけて助けてくれました。自分自身でも同じ失敗を繰り返さないように心掛けました。大切なことは「失敗とどう向き合うのか」ということです。

(次に続く)

校訓：思慮 高邁 貫徹

育てたい生徒像：自らの成長のために挑戦できる生徒

【頑張れ！3年生】

9月の就職試験を皮切りに、大学、短大、専門学校等の試験もスタートしました。来年1月に行われる大学入学共通テストの出願も終わりました。すでに就職内定、合格通知を手にした人は、残された高校生活を最後まできちんと取り組んで欲しい。これから受験に向かう人は、第1志望合格を目指して頑張っていて欲しい。

【2学期は学校行事や各部の大会が盛りだくさん】

今月は、1年生の文理選択説明会、島根大学訪問、2年生のコース選択説明会、修学旅行がありました。島根大学訪問、修学旅行の様子は、江津高校ホームページ等で紹介します。また、各部の大会（県選手権、新人戦等）も各地で開催されます。私も可能な限り大会会場に出かけ、生徒諸君の頑張っている姿を見に行きたいと思います。大会会場へ出かけると、たくさんの保護者の皆様に、熱い声援を送っていただいております。保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に対しましてご支援を賜り、感謝申し上げます。この場を借りてあらためて御礼申し上げますとともに、引き続き本校の教育活動にご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。